

平成27年度授業改善推進プラン 《音楽》 西東京市立ひばりが丘中学校

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習態度が望めるため、グループ学習や互いに教えあったりすることに成果が見られた。 ・1年生にリコーダーを取り入れることによって、器楽面での意欲が高められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人しく表現能力が欠ける生徒が見られるため、もっと自主的に授業に参加できるように、パート練習やグループ学習の活用に工夫をする。リコーダーは苦手な生徒への個別指導や、苦手意識の克服を目指し教材研究する

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく元気で意欲的な生徒が多い。歌唱もリコーダーも進んで参加する。その一方、落ち着きがなく、自己的発言が多い生徒も多数見られる。授業規律や基礎学力の徹底に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・TTを活用させて、落ち着きのない生徒や、授業についてこられない生徒へのフォローアップを図る。ゲーム感覚を取り入れたり、カード学習なども利用して、基礎学力の定着を心がける。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた生徒が多いが、授業に向けての意欲に欠ける生徒も多数見られる。基礎学力の定着も課題である。表現能力をもっと身に着けさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現する喜びや楽しさを味わわせるために、グループ練習や、発表などをうまく活用する。基礎的な学習においては、小テストや、記号のカードなどを使って繰り返し学習し、定着を図る。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた授業態度で、しっかり話を聞くことができる。聞くことは得意だが、自分を表現するのが苦手な生徒が多数見られる。一方、音楽的能力にとっても富んでいる生徒も大勢いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生としての自覚を持たせ、自信を持って表現できるように、目的と課題を明確にする。心に響く言葉がけ、教材を準備する。リーダーを中心にグループ学習や発表を適宜行っていく。

●学校全体で取り組む内容

<ul style="list-style-type: none"> ・表現する楽しさや、喜びを感じさせるためにグループ学習や発表を活用して、表現能力を高める。 ・基礎的な学力を身に着けさせるため、視覚的にもわかりやすく意欲を持てる教材を工夫する。 ・授業に集中できない生徒や、学習に理解の手助けが必要な生徒には、個別で対応する。
